

2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）第三回地域連携フォーラム

# 自然共生サイト認定促進に 向けた庁内連携の取り組み

仙台市環境局 環境共生課  
環境共生係長 川満 尚樹

- 1 自然共生サイト認定取得の契機
- 2 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林認定取得
- 3 認定取得の促進に向けた今後の展開

# 1. 自然共生サイト認定取得の契機

## (1) 自然共生サイトとは

- 30by30目標※の達成に向け、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている」と国が認定した区域。
- 認定基準が定められており、有識者審査を経て、環境大臣が認定する。
- 令和5年度に開始された制度。

「自然共生サイト」の認定基準	
	1. 境界・名称に関する基準
	2. ガバナンスに関する基準
	3. 生物多様性の価値に関する基準
	4. 活動による保全効果に関する基準

「生物多様性の価値に関する基準」の具体的内容

以下のいずれかの価値を有すること	
場	(1) 公的機関等に生物多様性保全上の重要性が既に認められている場
	(2) 原生的な自然生態系が存する場
	(3) 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場
	(4) 生態系サービスを提供する場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場
	(5) 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の場
種	(6) 希少な動植物種が生息生育している場又は生息生育している可能性が高い場
	(7) 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場
機能	(8) 越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場
	(9) 既存の保護地域又は認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連結性を高める機能を有する場

※30by30目標  
2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として保全しようとする世界目標。

# 1. 自然共生サイト認定取得の契機

---

## (2) 本市の生物多様性の取り組み

- 平成29年3月に「仙台市生物多様性地域戦略」を策定。  
土地利用関係法令の適切な運用などに加え、生き物の魅力や大切さを学び生物多様性の保全の機運を醸成する啓発イベント等を重点事業として実施。
- 令和元年度～2年度調査  
生きものの認識度については向上。  
猛禽類の生息適地や樹林地割合の減少など生物多様性の劣化が見られた。

「杜の都」「The Greenest City」を標榜する本市として、生態系サービスの継続的享受及び都市のブランド力向上のために、「生物多様性の保全」に積極的かつ先行的に取り組みたい。



生物多様性保全の更なる推進の足掛かりとして  
自然共生サイト認定促進に向けたノウハウ取得や課題の洗い出しを行う

➤ 令和5年度前期（初回）の公有地認定を申請

## 2. 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林認定取得

### (1) 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」とは

2011年3月、東日本大震災で大きく失われた仙台東部地域のみどり



市民等と連携し、沿岸地域のみどりの再生を図るプロジェクト



約10年の取り組みの結果、健全な生態系が戻ってきた



- 事業担当課 建設局百年の杜推進課
- サイト管理者 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト実行委員会
- 申請担当課 環境局環境共生課
- 生態系の価値 (認定基準) 価値(4)生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物からなる健全な生態系が存する場

これまで10年にわたって取り組んできた

- 「多重防御」と「文化震災の記憶継承」という生態系サービスを目的に
- 市民協働で生物多様性の豊かな海岸防災林を育成するNbSとしての活動が評価され、自然共生サイトに認定された



## 2. 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林認定取得

---

### (2) 認定取得までの経過

- R 4. 4 (国：30by30ロードマップ公表、30by30アライアンス発足)  
市関係課と30by30への対応について協議  
(以降、複数回打合せを実施)  
↓
- R 4. 7 30by30アライアンス 参加  
↓
- R 4. 12 生物多様性条約COP15にかかるモントリオール誓約署名  
↓
- R 5. 4 「自然共生サイト」認定申請受付開始  
↓
- R 5. 5 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林 認定申請  
↓
- R 5. 10 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林 認定取得

## 2. 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の海岸防災林認定取得

### (3) 認定取得に向けた連携

	環境局	建設局
役割分担	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 申請書作成</li><li>・ 申請手続、質問対応</li></ul> など	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 通常のサイト管理</li><li>・ 申請書作成にかかる情報提供</li></ul> など
得られた成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 認定取得のノウハウ</li><li>・ 課題の洗い出し</li></ul> など	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 管理地の付加価値向上</li><li>・ 取り組みの認知度向上</li></ul> など

建設局がこれまで行ってきたサイト管理により、「情報（生き物調査結果など）」と「健全な生態系と、生態系サービスの価値」があった。

➡ 申請にあたって活用できるものが多く、短期間での認定取得につながった



### 3. 認定取得の促進に向けた今後の展開

#### (1) 今回の認定取得で見た課題など

##### 課題

- 認定取得のメリットは？  
(生物多様性の保全は本来業務ではない)
- 認定取得のデメリットは？  
(認定の取得が事業の足かせにならないか)
- 手間はどれくらいか？ノウハウがない…  
(認定のために大きな労力を割けない)
- 計画どおり管理できないと認定されない？  
(予算や担い手が不十分、入札不調…)

##### 対応

- ➡ 組織全体の目標 (計画・CSR) に位置付ける！
- ➡ 正しい情報の提供
- ➡ ノウハウを蓄積し提供する
- ➡ 認定基準や管理レベル感の共有。  
予算は外部資金含め今後の課題

# 3. 認定取得の促進に向けた今後の展開

## (2) 今後の連携イメージ

庁内

庁外

